

おひさま ニュース

2026

秋 号

10月15日発行



ホームページ

予約センター
(日曜・祝日除く)

☎0470-25-5121

平日 8:30~17:00

土曜 8:30~12:00

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <https://www.awairyo.jp/>

発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也

房総健康管理 センターの 開設にあたり

メディカルディレクター

亀田省吾



安房地域医療センターは長年にわたり、院内の健診室と検診車による巡回健診により、安房郡3市1町の住民検診、南房総地域の企業健診をはじめとした各種健診事業、さらにがん検診を中心とした人間ドックなど幅広い健康管理サービスを提供してまいりました。一方、高齢化の進展や疾病構造の変化、医療技術の進展などにより人々の健康に対する意識やニーズの変化がおこり、従来の施設やサービスでは、多様化するニーズに十分対応することが難しくなっていました。従来の健診室は手狭なうえ、外来診療と診断機器を共有しているため、健診で利用できる時間など、様々な制約により、健診や人間ドックを受けていただける人数や時間も限られていました。様々な検査が必要な人間ドックは1日6名ほどしか受け入れられず、大変ご迷惑をおかけしてきました。

今回開設した房総健康管理センターは施設内に、健診に必要なほぼすべての検査機器や医療機器を揃えており、時間の制約を受けずに各種健診や人間ドックを行うことができます。MRIやCT、内視鏡をはじめ、各医療機器も最先端のものを導入しており、房総地域で最も充実した健康管理センターであると自

負しております。また、施設だけではなく、WEB予約やAI電話の導入などによりご利用者の利便性の大幅な向上を図っています。さらに、DX技術などを活用して、速やかな結果報告を目指した健診システムの更新も進めており、効率的で質の高いサービスを提供してまいります。

2026年4月には、内視鏡のスペシャリストでもある神山先生をセンター長として招聘し、鎮静剤を使った痛みの少ない検査や上部消化管内視鏡検査と下部消化管内視鏡検査を同時に行うことも可能となり、ご利用者の負担ができる限り少ない健康管理サービスを進めてまいります。

また、現在AIの進歩はすさまじく、医療分野にも大きな影響を与えています。特に検体検査や画像診断にはAIによる支援システムが急激に発展しており、診断精度の向上や非侵襲的な診断方法も進んでいくことが予想されます。房総健康管理センターはこれらの技術を積極的に取り入れるとともに、社会の変化やご利用者のニーズに柔軟に対応し、常に時代に即した最善のサービスを提供することを目指します。

そして、安房地域医療センターの使命である房総地域を中心とした人々の健康増進を通じ、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。



診療科のご紹介

内科系	総合診療科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	膠原病・リウマチ内科	小児科	脳神経内科	呼吸器内科
	循環器内科	腎臓内科	糖尿病甲状腺内分泌内科	消化器内科	腫瘍内科	健診科
外科系	外科	外科 肛門病センター	整形外科	スポーツ整形	婦人科	眼科
	泌尿器科	乳腺外科	脳血管内治療科			皮膚科
その他系	リハビリテーション	人工透析科	救急科	麻酔科		
専門外来	人工関節外来	脊椎外来	手の外科	骨粗鬆症外来	禁煙外来	総合スポーツ・運動処方外来
	ウロギネ・ヘルニア外来	発達相談				

泌尿器科

泌尿器科は、女性・男性を問わず、腎臓・尿管・膀胱・尿道などの尿路の病気や排尿に関する症状を診療する診療科です。男性の前立腺や精巣などの生殖器の病気も診療します。排尿時の痛みや頻尿、尿もれ、血尿、尿路結石、前立腺肥大症、前立腺がん、膀胱がん、腎がんなど幅広い疾患に対応しています。

また、健診で尿潜血やPSA高値を指摘された方の精密検査も行っています。当科では患者さまのお話を丁寧に伺い、一人ひとりに適した検査・治療をご提案いたします。鼠径ヘルニア(脱腸)の手術も行っていますので、お気軽にご相談ください。



女性の患者さまへ

女性では、膀胱炎や過活動膀胱、尿失禁、骨盤臓器脱、排尿時の違和感や繰り返す尿路感染症など、日常生活に影響する泌尿器の症状が少なくありません。当科では女性医師による診療も行っており、デリケートなお悩みも安心してご相談いただける環境を整えています。些細なことでも構いませんので、お困りの症状がありましたらお気軽にご相談ください。



よしが ゆうき

芳賀 有希

泌尿器科 医長

出身地：大阪府大阪市

趣味：スポーツ、旅行、美術館巡り

房総の好きなところ：

食が豊か、自然に溢れている



コラム・リハビリテーション室 ①

入院直後から始まるリハビリ

「リハビリは病気が落ち着いてから始めるもの」と思われがちですが、実際には入院したその日からの関わりが大切です。特に高齢者は、安静がほんの数日続くだけで筋力や体力が低下し、歩行や食事など日常生活に必要な動作が難しくなることがあります。急性期リハビリは、こうした機能低下を予防し、早期回復と自立した生活につなげることを目的としています。高齢化率40%を超える安房地域では、治療だけでなく、退院後もその人らしく暮らし続けられる支援が重要です。入院リハビリチームは、入院直後から患者さまに寄り添い、住み慣れた地域での生活を支えています。

理学療法士 田沼昭次



新しくなった健診センターをご紹介します



快適で安心して受診いただけるよう、

新しい健診センターが オープンしました！

最新の設備とゆとりのある空間で、
みなさまの健康づくりをサポートします。



受付・待合室



明るく開放的な受付と
ゆったりとした待合スペースです。

内視鏡室



最新の検査機器を導入し、
より精度の高い検査を行います。

診察室



個人情報に配慮した
落ち着いた空間で対応します。

乳がん・子宮がん検診を実施



2階フロアの一部を女性専用エリアとし、
プライバシーに配慮した環境で、
安心して受診いただけます。



健診のご予約方法 お電話、WEB・FAX（一部）でご予約いただけます。



房総健康管理センター
BOSO Health Check-up Center

☎ **0470-25-5120**

受付時間
平日 13:00～16:00

人間ドックは
WEB・FAXでも一部
ご予約を承ります。
詳しくはホームページを
ご確認ください。



トピックス

夏休み高校生医療体験

8月15日(土)～21日(金)の7日間、NPO法人Touch the Futureの医師を目指す全国の高校生を対象とした医療体験プログラムを当院としては初めて実施しました。

今回は総合診療科の林亮佑医師が中心となり4名の高校生を受け入れ、生徒一人ずつ一人の入院患者さまを担当し「患者さまの幸せとは何か、そのための医療とは何か」をテーマに、担当患者さまの人生や思いに向き合いました。

最終日の生徒たちによる修了発表会では、今回の体験で得られたものや将来について語って



くれました。

私たち職員も良い影響を得られ、貴重な機会となりました。



安房カフェ通信コラム

地域と病院をつなぐ。

「無料低額診療事業」をご存じでしょうか？病气やけがの治療を受けたいけれど、医療費の支払いが心配で受診をためらってしまうことはありませんか。当院では、経済的な理由で医療費の負担が難しい方を対象に、無料または低額な料金で診療を行う「無料低額診療事業」を実施しています。安心して必要な医療を受けていただけるようご相談をお受けしていますので、お困りの際はお気軽にお声かけください。



館総 船舶衛生管理者講習

館山総合高校専攻科 漁業コース・機関コースの1、2年生が、船舶衛生管理者講習の一環として来院されました。船舶衛生管理者とは、船員の健康管理や救急処置を担う国家資格です。当日は医師・看護師が講師となり、創傷処置やバイタルサイン測定、フィジカルアセスメント(聴診、触診)、蘇生法(心臓マッサージ・人工呼吸)など実践的に学んでいただきました。生徒のみなさんが真剣な表情で取り組む姿が印象的でした。将来、海上で人々の命と健康を守る担い手として活躍されることを応援しています。



千葉豪雨 DMAT 出動

8月の記録的豪雨により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。当院DMAT(災害派遣医療チーム)も千葉県の要請を受け、被災地支援を行いました。医師・看護師・薬剤師の4名が出動し、停電や浸水被害を受けた医療機関で患者搬送や情報収集、医療ニーズの検討などに従事しました。当院は2019年の房総半島台風で多くの支援を受けた経験があり、その感謝を胸に活動しました。今後も災害拠点病院として、地域との連携を深め、災害時の医療継続体制の強化に努めてまいります。



編集後記



おひさまニュース
バックナンバー

新しい健診センターがオープンし、病院の景色がまた少し変わりました。一方で、この夏は豪雨災害へのDMAT派遣や高校生の医療体験など、病院の外へ目を向ける機会も多くありました。健康を守ること、病气からの回復を支えること、災害に備えること、そして次の世代につなぐこと。記事を並べてみると、どれも「地域とともにある病院」という一つの言葉につながるように感じます。秋の訪れとともに、皆さまもぜひご自身の健康に目を向けてみてください。

ねもふいら



安房地域医療センター
公式キャラクター「あわまる」